

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

講 師： 日本歯科大学附属病院 総合診療科

教授 北村 和夫 先生

演 題： エンド難症例への対応

日 時： 2019年7月4日(木)17:00～20:00

場 所： 7号館(歯学部校舎棟)5F、保存矯正示説室

抄 録：

歯内療法は感染との戦いである。歯内療法の処置は、感染源除去を目的に行う処置と再感染防止を目的に行う処置に分けられる。歯内療法はそれらを両立して、治療を成功へと導くことができる。近年、「歯内療法の三種の神器」、すなわちマイクロスコープ、NiTi ファイル、歯科用 CBCT、の普及に伴い、以前より正確に診断し、確実に治療できるようになった。しかし、わが国では、現在も再根管治療が繰り返されている。講演では、私の考える歯内療法、私の実践している歯内療法、非超弾性形状記憶性 NiTi ロータリーファイルの特徴と臨床例についても紹介したい。歯内歯などの形態異常歯や内部吸収などの歯根の病的吸収を含む多くの臨床例を紹介し、エンド難症例への対応について、その考え方、治療法について議論したい。

連絡先： 川島 伸之（歯髓生物学分野 内線 5495）